

平成28年台風10号災害対応検証報告書【概要】

第1章 検証の目的と手法

目的

平成28年8月、北海道への相次ぐ台風の上陸及び接近にあたり、町は、8月30日に災害対策本部を設置して避難勧告を発令するとともに、洪水時の避難所全13か所を開設し、町民の生命及び財産を災害から保護するため、全職員を動員して総力を挙げて対応した。

しかし、これらの対応には様々な課題があったため、これを検証し、今後の防災対策に反映させることを目的として、検証報告書を作成することとしました。

手法

検証については、町民アンケートでの町民の意見、職員や避難所となった学校の意見等を基に、対応についての課題を抽出し、それぞれの課題に対する改善策を検討しました。

第2章 災害の状況

気象状況

平成28年8月17日から23日までの1週間に3つの台風が連続して北海道に上陸し、さらに、30日から31日にかけては台風10号が十勝地方を通過するという観測史上初めての事態が発生しました。

平成28年8月の総降水量は、平年の8月の総降水量の約2倍となりました。

※平成28年8月総降水量288.5mm 平年値146.4mm(約2倍)

河川の状況

十勝川の最大水位38.07m：8月31日 AM4：00

(参考：氾濫注意水位：35.2m、避難判断水位：36.8m、氾濫危険水位：37.4m)

音更川の最大水位77.48m：8月31日 AM9：10

(参考：氾濫注意水位：73.1m、避難判断水位：73.8m、氾濫危険水位：74.2m)

避難所開設状況

| 発令理由 | 発令 | 開設避難所 | 発令対象 | | 実避難 | | 開設時刻 | 閉鎖時刻 |
|-----------------|------|---------------------------------------|-------|--------|-------|-------|---------------|---------------|
| | | | 世帯数 | 人数 | 世帯数 | 人数 | | |
| 土砂災害のおそれ | 自主避難 | 音更中学校 | 6 | 23 | 0 | 0 | 8/30 20:34 | 8/31 6:30 |
| 十勝川氾濫のおそれ | 避難勧告 | 緑南中学校、 下音更中学校、 鈴蘭小学校、 木野コミセン | 3,999 | 8,937 | 1,236 | 2,964 | 8/31 2:40 | 8/31 15:20 |
| 十勝川氾濫のおそれ | 避難勧告 | 十勝川温泉湯の里 会館 | 1 | 149 | | | 8/31 5:45 | 8/31 15:20 |
| 音更川氾濫のおそれ | 避難勧告 | 洪水時の全避難所 13箇所 | 6,408 | 13,669 | | | 8/31 7:20 | 8/31 15:20 |
| 音更川堤防決壊のお それ | 避難勧告 | 南中土幌地区構造 改善センター | 8 | 23 | 2 | 2 | 8/31 19:30 | 9/1 9:00 |

被害状況

住居等の浸水被害状況

| 区分 | | 住家 | 非住家(事務所・工場等) | 計 |
|------|---------|----|--------------|----|
| 床上浸 | 半壊 | 17 | 3 | 20 |
| | 半壊に至らない | 5 | 3 | 8 |
| 床下浸水 | | 17 | | 17 |
| 合計 | | 39 | 6 | 45 |

道路 路面浸食、法面崩壊等58箇所。 通行止 道道1路線、町道6路線。
 河川 法面崩壊 1箇所
 明渠排水路 法面崩壊等 13路線
 頭首工 万年頭首工
 農業被害 畑冠水、滞水 1,157ha
 社会体育施設被害 柳町河川緑地各種スポーツ施設、木野広場サッカー場、音更川リバーパーク、すずらん河川緑地パークゴルフ場、十勝川温泉アクアパークのパークゴルフ場

第3章 アンケート調査

町民アンケート調査

町民の避難行動を把握することを目的とし、今後の防災活動の充実と地域防災力の向上を図るため調査を実施しました。

避難所担当職員アンケート調査

実際に避難所で避難者と行動を共にした避難所担当職員を対象とし、避難所運営における課題を把握するために調査を実施しました。

避難所担当以外の職員調査

避難所担当以外の災害対応をした職員を対象とし、今後の災害対応における課題を把握するために調査を実施しました。

学校アンケート調査

避難所となった学校側の意見をもらい、避難所運営の課題を把握するために実施しました。

第4章 課題と改善策

アンケート調査から次の4つの課題を抽出し、改善策について検討しました。

町民への情報提供について

- ・迅速な避難情報の発信について
- ・適切な避難情報の伝達について
- ・ホームページによる迅速な情報提供について

避難所の運営について

- ・避難行動について
- ・避難所での情報提供について
- ・事務作業の遅れについて
- ・配布する食料の公平性や配布時間について
- ・炊き出しによる食事の提供
- ・避難所環境
- ・物品の備蓄について

災害対策本部の運営について

- ・本部の運営
- ・情報の収集
- ・整理
- ・共有

災害現場対応について

- ・樋門管理、河川・道路・農業用排水路巡回、冠水防止
- ・災害ごみ処理対応
- ・除染・感染症予防
- ・災害協定の充実
- ・停電時の避難所対応
- ・NTT回線不通対応

第5章 今後の取組

町では今回の経験を糧として、改善策に取り組み、防災・減災力の強化を図ります。既に取り組んだものや、今後の対応・検討が必要なものは次のとおりです。

既に取り組んだもの

- ・情報・防災課以外の職員によるアラート操作訓練
- ・防災出前講座、広報紙などを通じた避難情報などの知識習得や防災意識の啓発
- ・避難所で職員等が着用するベストの用意
- ・避難所担当職員と町民が参加する避難所運営訓練の実施
- ・国や道と連携した訓練の実施

短期的に取り組むもの(平成29年度中を目標)

- ・各種マニュアルの修正(避難所開設・運営マニュアル、災害対策本部運営マニュアル等)
- ・公用車に拡声器を取り付けた広報対応車両の増台
- ・災害対策本部から避難所担当職員への情報提供手段の整備(携帯用無線機の購入)
- ・避難所での情報提供手段の整備(体育館にテレビアンテナ受口を設置)
- ・避難所運営効率化のための避難所用各種記録様式の修正
- ・災害備蓄品目、数量の見直し
- ・災害対策本部設置運営訓練の実施
- ・新しい情報入手手段であるドローンの購入
- ・ハザードマップやくらしと防災ガイドブックの見直し
- ・各樋門の樋門管理業者との事前打合せ

継続的な検討・取組を要するもの

- ・多様な情報伝達手段の確保に向けた調査研究
- ・自主防災組織の結成や活動の支援、避難所運営などでの連携を検討
- ・要配慮者の避難等に対する地域での支援態勢の強化
- ・要配慮者の避難所環境の改善として、社会福祉施設との福祉避難所協定締結の検討
- ・災害協定による災害時の支援、協力関係の拡充

